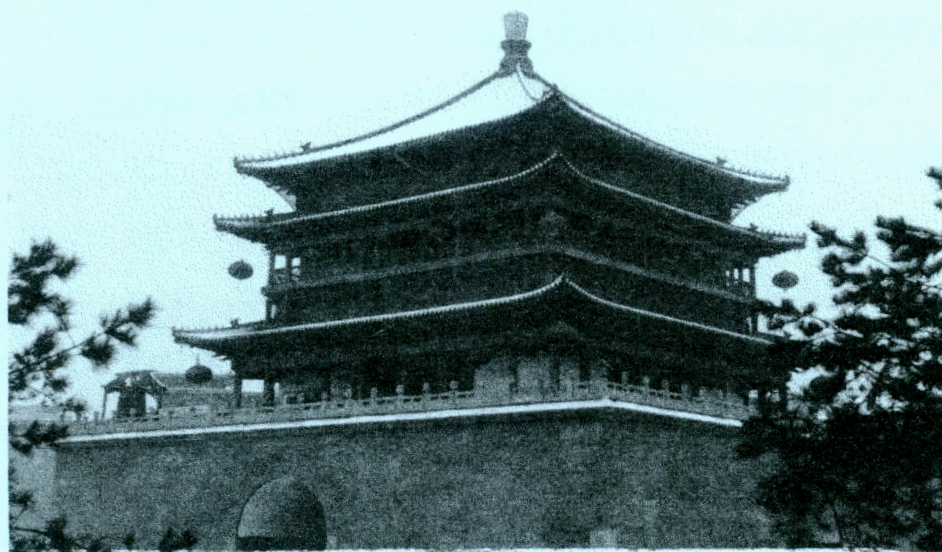


東アジア世界史研究センター 平成23年度 公開講座

# 古代東アジアの 国際情勢と人流



西安 鐘楼

文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（オープン・リサーチ・センター整備事業）

## 「古代東アジア世界史と留学生」

日時：平成23年11月19日（土）13:00～17:00  
20日（日）10:00～17:30

会場：専修大学神田校舎1号館3階303教室

## 東アジア世界史研究センターの研究計画〈概要〉

### 【研究目的】

これまでの東アジア世界を対象とした歴史研究プロジェクトは、壮大なテーマを掲げて取り組んできましたが、本プロジェクトは、追求すべきテーマを絞り込み、古代東アジア世界を流動した人々との対比を視野に入れた上で、東アジアの国々が、様々な文化・文物の流入を期待し、それを直接に担った「留学生」に焦点を絞り、テーマを設定しました。

先進文明国に位置する中国への留学生は、文化・文物を「移植」・「媒介」した存在ではありますが、その果たした歴史的な意義は、十分に明らかにされていません。

本プロジェクトは、本学大学院が発見に大きな役割を果たした「遣唐使井真成墓誌」で培われました中国西北大学大学院との共同研究（その成果の一部は『遣唐使の見た中国と日本』朝日新聞社、2005年、として刊行）を基礎として、1. 隋・唐代の中国を訪れた東アジアからの留学生の全貌を明らかにした上で、2. 古代東アジアの国々への影響を解明するものであります。これは、文物の「媒介者」の歴史的意義を問う試みであり、グローバル化した現代において見失われがちな「媒介者」の正当な位置づけとその果たしている重要性を確認させる点において、現代的な意義を有する研究といえます。また、研究計画を遂行する中で、日本人に限定しないで、東アジア世界の若手研究者の育成を目的の一つにしていることも、本プロジェクトの特徴となっています。

【研究テーマ】

- ① 遣唐使井真成墓誌関係史資料の研究
- ② 日本・中国・朝鮮の「留学生」史・資料についての研究
- ③ 政治・制度・文化・思想の接触と受容からみた東アジア世界の研究
- ④ 物の移動からみた東アジア世界の研究

・研究プロジェクトの参加研究者

	研究課題	参加調査・研究チーム
<b>専修大学</b>		
荒木 敏夫	東アジアにおける政治史	①・③*
矢野 建一	東アジアにおける留学生の位置	①*・③
亀井 明德	東アジア世界と中国・日本	③・④
高久 健二	東アジア世界と朝鮮・日本	③・④
土生田純之	東アジア世界と朝鮮・日本	③・④*
飯尾 秀幸	律令制度と東アジア世界史	②*・③
内藤 雅雄	東アジア世界と南アジア世界の交流	③・④
田中 正敬	東アジア世界のなかの朝鮮半島	③・④
松原 朗	東アジア世界における文化的人的交流	②・③
土屋 昌明	東アジア世界における文化的人的交流	②・③
巖 基珠	東アジア世界における文化的人的交流	②・③

\*は各研究テーマのチームリーダー

西北大学（中国）

王 建新	東アジア世界と中国	③・④
王 維坤	東アジア世界と中国	③・④

リサーチ・アシスタント

伊集院葉子	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（日本古代史）
窪田 藍	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（日本古代史）
多田麻希子	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（中国古代史）

# 平成23年度公開講座 第1日目

## プログラム

挨拶

13:00~13:15

土生田 純之

(東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

講演

13:15~14:15

高 兵兵 (西北大学国際文化交流学院副院長・教授)

「菅原道真と九世紀の日本外交」

14:30~15:30

浜田 久美子 (国立国会図書館司書)

「日本と渤海の文化交流—承和年間の『白氏文集』受容を中心に—」

15:30~15:50

休憩

15:50~17:00

質疑応答

司会・進行

飯尾 秀幸 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

## ◎ 講師紹介

### ■ 土生田 純之（はぶた よしゆき） 専修大学文学部教授

関西大学大学院文学研究科修士課程修了

【主要著書・論文】『日本横穴式石室の系譜』（学生社、1991年）、『黄泉国の成立』（学生社、1998年）、『古墳時代の政治と社会』（吉川弘文館、2006年）、『古墳学入門』（共編著、学生社、2003年）、『古墳時代の実像』（共編著、学生社、2008年）、『文化遺産と現代』（共編著、同成社、2009年）、『東日本の無袖横穴式石室』（編著、雄山閣、2010年）、『古墳』（吉川弘文館、2011年）

### ■ 高 兵兵（Gao Bing-bing） 西北大学国際文化交流学院副院長・教授

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）

【主要著書・論文】『雪・月・花—由古典詩歌看中日審美之異』（三秦出版社、2006年）、『日本古代漢文学與中国文学』（訳著、後藤昭雄著、中華書局、2006年）、「菅原道真の比喻表現と和歌—日中詩歌比較の視角から」（『和漢比較文学』32、2004年）、「菅原道真の住まいと白居易—平安京宣風坊邸と洛陽履道里邸」（『白居易研究年報』6、2005年）、「菅原道真詩文における「残菊」をめぐって—日中比較の視角から」（『日本研究』32、2006年）、「菅原道真の〈贈物詩〉をめぐって」（学会創立四十周年記念中古文学会賞受賞論文、『中古文学』78、2006年）

### ■ 浜田 久美子（はまだ くみこ） 国立国会図書館司書

法政大学大学院人文科学研究科博士後期課程修了、博士（文学）

【主要著書・論文】『日本古代の外交儀礼と渤海』（同成社、2011年）、「『本朝書籍目録』について—奥書の検討と系統整理—」（阿部猛編『中世の支配と民衆』同成社、2007年）、「渤海との文化交流—領客使と漢詩文—」（『東アジアの古代文化』136、2008年）

## ◎ 司会紹介

### ■ 飯尾 秀幸（いいお ひでゆき） 専修大学文学部教授

東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

【主要著書・論文】『中国古代社会史論』（共訳、名著刊行会、1997年）、『中国史のなかの家族』（山川出版社、2008年）、「中国古代の法と社会」『岩波講座、世界歴史』（第5巻、岩波書店、1998年）、「中国古代における個と共同性の展開」（『歴史学研究』729号、1999年）、「中国国家史研究は進んだか」（『歴史学研究』782号、2003年）、「中国古代における人の移動とその規制に関する基礎的研究」（『専修大学人文科学年報』37号、2007年）

# 平成23年度公開講座 第2日目

## プログラム

### 講演

10:00~11:00

山内 晋次 (神戸女子大学准教授)

「9~12世紀の日本とアジア

—ヒトの移動の視点から—」

11:10~12:10

矢野 建一 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

「遣唐使と来日『唐人』

—皇甫東朝を中心として—」

12:10~13:30

休憩

13:30~13:50

窪田 藍 (東アジア世界史研究センターリサーチ・アシスタント)

「『古代東アジア世界史年表』の活用

—『白村江の戦い』を事例として—」

14:00~15:00

鈴木 靖民 (國學院大学教授・横浜市歴史博物館館長)

「東アジア世界史と東部ユーラシア世界史」

15:00~15:20

休憩

15:20~17:30

質疑応答

5年間の取り組みを振り返って

矢野 建一 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

飯尾 秀幸 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

荒木 敏夫 (東アジア世界史研究センター代表/専修大学教授)

「古代東アジア世界と留学生

—五年間の取り組みと課題—」

### 司会・進行

飯尾 秀幸 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

## ◎ 講師紹介

### ■ 山内 晋次 (やまうち しんじ) 神戸女子大学文学部准教授

大阪大学大学院文学研究科博士課程修了

【主要著書・論文】『奈良平安期の日本とアジア』(吉川弘文館、2003年)、『海域アジア史研究入門』(共編著、岩波書店、2008年)、『日宋貿易と「硫黄の道」』(山川出版社、2009年)

### ■ 矢野 建一 (やの けんいち) 専修大学文学部教授

立教大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学

【主要著書・論文】『遣唐使の見た中国と日本』(共著、朝日新聞社、2005年)、『長安都市文化と朝鮮・日本』(共編著、汲古書院、2007年)、『長安都市文化と朝鮮・日本』(共編著、三秦出版社、2008年)、「井真成研究-その後の研究動向によせて-」(『人文科学年報』37号、2007年)、「中国における入唐留学生研究の動向」(『人文科学年報』38号、2008年)、「遣唐使の派遣と春日山祭祀」(『東アジア世界史研究センター年報』1号、2008年)

### ■ 窪田 藍 (くぼた あい) 専修大学大学院文学研究科博士後期課程在学

専修大学社会知性開発研究センター／東アジア世界史研究センター リサーチ・アシスタント

【主要著書・論文】「唐『井真成墓誌』研究の総括」(共訳『東アジア世界史研究センター年報』1号、2008年)、「日本古代の「危機管理」と律令国家—八世紀『賑恤』・『賑給』を中心として—」(『専修史学』44号、2008年)、「『日本書紀』における「賜」に関する一考察」(『専修史学』48号、2010年)、「『異国牒状記』所載の「牒状」について—「文武天皇慶雲二年」の「牒状」の解釈を中心として—」(『東アジア世界史研究センター年報』5号、2011年)

### ■ 鈴木 靖民 (すずき やすたみ) 國學院大學文学部教授・横浜市歴史博物館館長

國學院大學大学院文学研究科博士課程単位取得退学、博士(文学)

【主要著書・論文】『古代対外関係史の研究』(吉川弘文館、1985年)、『倭国と東アジア』(吉川弘文館、2002年)、『古代日本の異文化交流』(勉誠出版、2008年)、『円仁とその時代』(高志書院、2009年)、『日本の古代国家形成と東アジア』(吉川弘文館、2011年)、『円仁と石刻の史料学』(編著、高志書院、2011年)

### ■ 荒木 敏夫 (あらかし としお) 専修大学文学部教授

東京都立大学大学院人文科学研究科史学専攻(博士課程)退学

【主要著書・論文】『可能性としての女帝—女帝と王権—』(青木書店、1999年)、『日本古代王権の研究』(吉川弘文館、2006年)、『日本の女性天皇』(小学館、2006年)

### ■ 飯尾 秀幸 (いいお ひでゆき) 専修大学文学部教授

東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

【主要著書・論文】『中国古代社会史論』(共訳、名著刊行会、1997年)、『中国史のなかの家族』(山川出版社、2008年)、「中国古代の法と社会」『岩波講座、世界歴史』(第5巻、岩波書店、1998年)、「中国古代における個と共同性の展開」(『歴史学研究』729号、1999年)、「中国国家史研究は進んだか」(『歴史学研究』782号、2003年)、「中国古代における人の移動とその規制に関する基礎的研究」(『専修大学人文科学年報』37号、2007年)

## 東アジア世界史研究センター

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

TEL/044-911-1283 FAX/044-911-1348

E-mail: east-asia@isc.senshu-u.ac.jp

主催：専修大学社会知性開発研究センター／東アジア世界史研究センター